

星稜 サ・エ・ラ

seiryô çà et là 2025 No. 75

inaokigakuen news letter



巻頭

2025年度 新年度あいさつ

星稜教職員バトンメッセージ

特集

星稜中学校野球部 第16回全日本少年軟式野球大会 優勝

星稜アレコレ

星稜Pick up

星稜トピック

地域連携センターだより
ご支援のお願い

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!



回答者に抽選でQUOカードをプレゼント

2025年度 新年度あいさつ



この4月、稲置学園に新たに1538名の園児・生徒・学生・院生が入学しました。入学生や保護者の皆様は、入学に至る幾年月の日々を振り返り、感無量の思いとともに新たな未来への希望を抱かれています。学園の教職員一同は、入学生の方々の皆様が学園を巣立つ日まで、保護者の皆様とともに教育や学習支援活動を通じて、「誠実に社会に役立つ人間の育成」を見守っていく責任をあらためて感じております。

さて、この4月から金沢星稜大学人文学部は、国際文化学科と国際英語学科の2学科体制となりました。本学人文学部は変転する世の中に対応できる国際性を磨くため、「北陸で唯一、全員が早期留学する学部」であります。その中でも、国際英語学科は、世界における英語の言語的位置づけやその歴史の変遷などを学び、英語を学問として探究する学科として、今年度新たに設置しました。また昨年度、経済学部は経済学科及び経営学科に加えて、地域システム学科を設置しました。地域課題の理解に必要な幅広い専門知識やデータサイエンスを用いた分析手法の習得などを通じて、地域の課題解決に貢献できる力を身につける教育を実施しています。

星稜中学校・星稜高等学校は、生徒自らが学びの主体となり、自らの力で未来を切り拓く創造力を持つとの「自学自創」の教育理念を掲げ、この4月に入学する中学生から、新たな中高一貫の教育プログラムを実施することとしています。4月8日に挙行された星稜中学校の入学式では、今年度新たに採用された制服に身を包み、緊張した面持ちで式に臨んだ生徒たちの姿が印象的でした。また昨年度の課外活動では、中学校野球部は文部科学大臣杯第16回全日本少年春季軟式野球大会において優勝し、全国大会三連覇を果たしました。

金沢星稜大学附属星稜幼稚園では、従前から園内で進めてきた教育理念の構築や園児の教育・保育の在り方についての行動指針を発出し、また外部研修や研究活動にも積極的に参加しています。金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園では、昨年1年をかけて「人づくりと組織づくり」に取り組んだ他、県内の諸機関との研究交流を通じて積極的に職員研修に努めていました。稲置学園の各設置校は、今年度も、日々弛まず教育研究及び保育活動が続けてまいります。

さて地元石川県では、能登半島地震と奥能登豪雨で被害を受けた住宅などの解体が進み、3月末の段階で57%余りの解体作業が終わり、今年10月の完了を目指しており、またこれらの災害を受けて開設された指定避難所も4月13日をもって閉じられました。しかし、被災地域の復興は緒に就いたばかりであり、石川県民としてこの被害を長く心に刻むこと、そして、自分たちにできる手助けを続けていくことが大事であると考えています。今年度も学園の被災地への支援活動を、皆様にはしっかりと見守っていただきたいと思います。

進路支援

多様な可能性を 引き出し、 学生の未来を 広げたい。

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
進路支援課 主事 宮田 浩一郎

一人ひとりに合わせたサポート

私が所属する進路支援課では8名の職員が、主に民間企業への就職支援を担当しています。進路ガイダンスや就職活動に向けた相談、模擬面接、書類添削などを行っており、私は主に大学生を担当しています。

大学1～2年次には、国内外への洋上就職合宿「ほし☆たび」、短期語学留学「MOONSHOT abroad」などの支援を実施しており、3年次から就職活動本番を控えた学生への支援を本格化させます。進路支援課では学生の自主性を尊重しながら、一人ひとりに合わせたサポートをします。

私は中学校教諭になることが夢だったこともあり、教育関係を中心に就職活動を行っていました。いくつかの企業を受験し、ご縁があり稲置学園に入職することになりました。総務部を経て現職に就き、様々な企業を知る中で、学生時代でももっと広い世界を見ることができたと今になって思います。

その思いから、就職支援の際に私が一番心掛けているのは、「学生の可能性を広げる」ことです。無限の可能性が広がる学生たちには、自らの可能性を狭めるのではなく、多様な業界・企業に挑戦してほしいと考えながら多方面からのサポートを続けています。

夢中になれることを見つけてほしい

やりがいが一番実感できるのは、学生の成長を間近で見られることです。



所属するアメリカンフットボールのチームは、幅広い年齢の人たちが活躍し、刺激にも社会勉強にもなります。(左から2人目が宮田さん)

学生は、就職活動を通して大きく成長していきます。確かな成長がしっかりと目に見え、こちらも刺激を受けます。そして大学に遊びに来た卒業生たちから「仕事が楽しい」という声を聞くのも本当にうれしく、私たち職員の励みにもなっています。

私たちは、ファーストキャリアはとでも大切だと考え、学生を支援しています。内定はゴールでなくスタートであり、学生たちの未来がより素晴らしいものになるための手助けを通して、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を実現していきます。

また、学生生活の中で、人生で夢中になれることを見つけてほしいです。私自身大学時代にアメリカンフットボールを始め現在も金沢に拠点を置く「金沢ワイセンベルグ」に所属し、プレーを

続けています。このチームはアマチュアですが本気で日本一を目指して活動しており、地区予選からエリア代表決定戦を勝ち上がり、西日本代表として全日本選手権に何度も出場しています。2025年2月の同大会では東日本代表と戦い、接戦の末、残り40秒で逆転を許して大変悔しい思いをしました。それでも日本一という夢に向かって進む気持ちはより強くなりました。加えて、アメフト不毛の地と言われる北陸で、この競技を根付かせたい。そのため金沢星稜大学でもアメフト部を再び立ち上げ、将来は学生たちとプレーできれば本当にうれしいですね。

県外と県内の比率は半々くらいで、県内外問わず希望する進路が実現できるように、個別での対話も大切にしています。



星稜中学校野球部

第16回全日本少年春季軟式野球大会 優勝 2年連続4度目の全国制覇



3月に岡山県で行われた春の全国大会（第16回全日本少年春季軟式野球大会）で2年連続4度目の優勝を果たした星稜中学校野球部。監督と大会で活躍した3年生部員4人にインタビューし、新チーム結成から大会までを振り返り、今後の目標などを語っていただきました。

チームが一丸となる

試合前のメンタルトレーニング

今大会も遠方の開催にもかかわらず、学校関係者や保護者会、卒業生、野球部OBの皆様方ははじめ、たくさんの方々にご支援、応援いただき、心より感謝申し上げます。

前チームは個々の能力が高く、1〜9番まで誰をどこで起用しても優勝できるような戦力が高いレベルで整ったチームでした。一方、今チームは、全国大会の経験がある服部と竹山、中村の3選手が軸となり、攻撃力は後回しで守備や走塁を重点的に鍛えて、春の全国大会に挑みました。投手力を生かして有利にゲームを進めるため、先取点を取ることだけを選手に伝えたものの、優勝という結果は予想以上にうまくいったと思っています。

今の中学3、2年生は、人格形成で人との関わりが重要になる小学校の高学年にコロナを経験し、以前の中学生と比べるとしゃべることが苦手で、コミュニケーション能力が1年ぐらい遅れているように感じています。そのため野球はチームスポーツなのに自分の結果しか見えていない生徒が多く、失敗しても取り返せるのが野球の魅力なのに、そこに気づいていないように思いました。そこで、スーパードレインレーニングという2023年夏の甲子園で全国優勝した慶應義塾高校の野球部も行っていたメンタルトレーニングを取り入れ、「何のために野球をやっているのか」「今、チームはどこに向かっているのか」と全部員が自問自答してから試合に臨んでいます。保護者の方でもメンタルトレーニングに参加される方が増え、子ど

もとの関わり方が変わり、「子どもと一緒に目標を共有できるようになった」といううれしい声もいただいています。

メンタルトレーニングの成果の一つとして、チームのために自分ができると考えた部員の行動が大会役員の方を感動させました。試合中、代走のアップを兼ねて、ファールボールを全力でベンチから取りに行く控え選手の姿が球場ですっかり有名になり、大会終了後、大会役員の方からねぎらいの言葉をかけてもらえました。また、スタンドの部員と保護者のゴミ拾いをたまたま目にした人が感動してSNSにアップするなど、同じ目標に向けてチームが三位一体となって取り組んだ結果が運も引き寄せ、今回の優勝に導いてくれたと思っています。



監督 五田 祐也

春の全国大会は優勝したものの、まだまだ課題も多くあるので、夏の全国大会に向けて走塁を含めた攻撃力をアップさせ、選手層に厚みのあるチームに仕上げていきたいと思っています。



昨夏の雪辱を胸に 野球の借りは野球で返す

昨夏の全国大会では、準決勝で投げさせてもらったのに自分が打たれてチームが負けてしまい、「野球の借りは野球で返す」という思いで新チームとなってから一日一日を大切にしながら野球と向き合ってきました。今年の冬は例年以上に雪が多く、外で思うように練習ができませんでした。その分、走り込みにも多くの時間をあてることができ、おかげでチーム全員の体力がアップし、ピンチでも精神的に余裕があり、自然と足が動き、春の全国大会の優勝につながったと思っています。自分もこの冬を越えて、体重を5キロ増やし、球速も132キロから148キロまで上げることができました。

自分は小学生の時に全国優勝したことや昨年の経験をかわれてキャプテンになりましたが、副キャプテンを中心として3年生のまとまりがよく、早くチームが一丸になった大きな要因だと思っています。グラウンドに立てば学年は関係なく、注意し合える、言いたいことを言い合える、そんな日頃からの取り組みが試合でミスしてもみんなでカバーできる、部員全員が一致団結したチームになったとも思っています。実際、春の全国大会でも、チャンスで無得点に終わったり、ミスが出たりしても、ベンチやスタンドからの「大丈夫、大



3年 服部 成(主将)

〈憧れの野球選手〉
大谷翔平選手、千賀滉大選手、鈴木誠也選手

丈夫」という部員の声が選手たちの背中を押し、大きな力になりました。メンバーに入れなかった部員や保護者も含めてみんなで見つかり取った優勝でした。

夏の全国大会はどのチームも集大成の場となるので、強豪ぞろいで暑さ対策も大変ですが、練習から実践を意識しながら取り組み、より強いチームになって、昨年のリベンジを果たし、春夏連覇を成し遂げたいです。

ミスもチームで共有し 1戦1戦強くなる

準決勝、決勝は平日だったにもかかわらず、保護者や学園関係者などたくさんの方に岡山県倉敷市の球場まで足を運んでいただきありがとうございました。スタンドからの大きな声援と明るい雰囲気のおかげで、普段通り落ち着いて自信を持ってプレーすることができました。

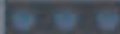
大会を通じて、打てない時でも、守備や走塁で崩れることなく、みんなでピンチを乗り越えていったところが良かったです。自分が7回を投げ切った2回戦の小松島中学校(徳島県)戦は1対0の緊迫したゲームでしたが、出塁したらどんな次の塁を狙う星稜中学らしい野球が実現できました。ヒットで出た選手が盗塁を決め、内野ゴロの間に相手の一瞬の隙を突き、2塁から一気に生還し、これが決勝点となりました。



3年 竹山 舜(副将)

〈憧れの野球選手〉
今宮健太選手(福岡ソフトバンクホークス)



TEAM 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 R H E																					
祝	文部科学大臣杯										AV			B		H					
	第16回全日本少年春季軟式野球大会										HR			S		E					
	ENEOSTーナメント										球速	km		O		Fa					
1 2 3 4 5 6 7 8 9									UMPIRES		1 2 3 4 5 6 7 8 9										
閉会式 成績発表																					
優勝 石川県											星稜中学校										



**実践形式の練習で
ピンチも平常心で戦えた**

春の全国大会では「大会無失点で優勝」がチームの目標だったので、2失点してしまったのでちよつと残念でした。それでも、2回戦の1対0の接戦を制した小松島中学校(徳島県)との試合のように、打って勝ったのではなく、



3年 中村 優太(副将)
〈憧れの野球選手〉
吉川尚輝選手(読売ジャイアンツ)

凡打しても全力疾走したり、ポジションに付く時も全力疾走で向かったりと誰でもできることをきっちりやることがチーム内で徹底され、試合の中でも選手間のコミュニケーションを大事にしていたことも優勝の原動力の一つだと思っています。

「今のプレー良かったよ」「このバッターこっちに打球いくよ」といった声かけだけでなく、悪いプレーも一つひとつ確認し合い、ミスを次に生かせるようみんなですっかり共有していたことで1戦1戦強くなっていたように感じています。また、試合前にメンタルトレーニングを取り入れたことで、頭の中がすっきりした状態で試合に臨めるし、チームの雰囲気も格段に良くなり、大きな結果に結びつきました。

夏は追われる立場になりますが、誰がどんな場面で出ても勝てるよう、より一層部員一人ひとりがレベルアップし、負けないチームを目指して頑張っています。



3年 山田 莉生
〈憧れの野球選手〉
坂本勇人選手(読売ジャイアンツ)

しっかり守り、走塁で勝てたのがチームの目指す野球スタイルでもあったので、全国大会で実践できてうれしかったです。

全国大会では相手のマークも厳しくなり、打席に立つと苦手なコースにどんどん投げてきたり、こっちの打者を見ながら守備位置を細かく変更してきたりとやりづらい点もありました。それでも、常に実践を意識した練習に取り組んできたことで、「あれだけやってきたから大丈夫」と自分に言い聞かせ、どんな場面でも相手に惑わされることなく、平常心で自信を持ってプレーに集中できました。

新チームでは「明るいチーム」を目指し、副キャプテンという立場でもあるので、まず自分が率先して日ごろからポジティブな言葉を発するようになり、ミスを引きずらず、気持ちの切り替えを早くするようにしたりと心掛けてきたことが優勝という最高の結果につながり、春夏の連覇に向けて良いステップとなりました。チーム内での競争も激しくなっていて、グラウンドに出ていくスピードだったり、アツプに取り組む姿勢だったり野球以外の部分でも競い合うようになっています。

夏の全国大会では、相手チームにもより一層研究されて大変な試合ばかりだと思いましたが、「日本一のショート」を目指してチームを盛り立て、春夏連覇をしたいと思います。

文部科学大臣杯第16回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSTーナメント

会期:3月21日～3月26日

●1回戦（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
櫛形中学校（山梨）	0	0	0	0	0	0	0	0
星稜中学校	0	0	4	1	0	0	X	5

（星）服部、竹山、小畑 一 向
三塁打 木村（星） 二塁打 向、干場、山田（星）

●2回戦（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
星稜中学校	0	0	1	0	0	0	0	1
小松島中学校（徳島）	0	0	0	0	0	0	0	0

（星）竹山 一 向
三塁打 山田（星）

●3回戦（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
周南クラブ（山口）	0	0	0	0	0	0	0	0
星稜中学校	6	0	0	0	0	1	X	7

（星）服部、小畑、北本 一 向
三塁打 山田、室本（星） 二塁打 山田（星）

●準々決勝（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
星稜中学校	0	4	1	0	0	0	0	5
東海大浦安中学校（千葉）	0	0	0	0	0	0	1	1

（星）竹山 一 向
三塁打 山田（星）

●準決勝（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
上一色中学校（東京）	0	0	0	0	0	1	0	1
星稜中学校	0	0	2	0	1	1	X	4

（星）服部 一 向
三塁打 小山、綿貫、山田（星） 二塁打 小山（星）

●決勝戦（倉敷マスカットスタジアム）

Team	1	2	3	4	5	6	7	計
作新学院中等部（栃木）	0	0	0	0	0	0	0	0
星稜中学校	0	6	0	2	0	0	X	8

（星）服部、竹山、服部 一 向
三塁打 中村、向（星） 二塁打 服部（星）



人間性の成長で
野球もレベルアップ

昨年は打撃のチームでしたが、今年は守備のチームで、なかなか打線が繋がらず、結構バッテリーに助けられることがありました。それだけにチームでは走塁の意識を大切にしています。1塁までの全力疾走はもちろん、フライを打ち上げても2塁を狙って全力疾走しています。そんなチームの姿勢が2回戦の小松島中学校（徳島県）で発揮され、緊迫した展開の中、走塁で1点をもぎ取り、競り勝ったことでチームが一気に勢いづきました。

星稜中学校の野球部は、「野球も人間性も日本一」をモットーとしていて、入部当初はなかなか自分の思いや意見をうまく伝えられなかったのに、みんなのサポートもあって、この1年でしっかり自分の意見を言えるようになりました。人間的に成長できたことで、野球でも徐々に結果がついてくるようになり、春の全国大会では4割近い打率を残すことができ、チームの勝利に貢献できたことが一番うれしかったです。また、新聞の結果を見て、地元七尾市の学童野球時代の指導者やチームメイトからも連日連絡をもらい、能登半島地震から復興に取り組む地域に少しでも明るいニュースを届けられて良かったです。

新チームになってからすでに100試合ほど練習試合を行っています。全部員がどんな場面で起用されても常に全力で挑んでいるので負けはありません。夏の全国大会に向けて部員一人ひとりが自分の武器に磨きをかけ、もっともっと強いチームになりたいと思っています。

★ 2024年度後期 フェアウェルパーティー

1月24日(金)、中国・台湾・ロシアからの留学生13名を送るフェアウェルパーティーを本学グローバルコモンズ2Fのラーニングコモンズで開催しました。学期末試験の期間中ということもあり、参加人数は少なめでしたが、その分、用意された食事を囲みながら、より密にじっくりと会話を楽しみました。

最後に、職員制作による留学生生活をまとめた動画を上映しながら、日本での留学生生活の思い出について一人ひとり感想を述べてもらいました。口々に日本を去る寂しさや楽しかった思い出などが語られ、最後の時間を名残惜しそうに大切に過ごしている様子でした。



★ 能登復興イベント参加 「ソレイユ×神崎ゼミ」

3月上旬、地元の方々から観光客までを招致した「能登まるごと味覚まつり」が、のと里山空港で開催されました。そのイベントに「進路支援課ソレイユプロジェクト5名」×「神崎ゼミ8名」の学生が出店側として参加し、子ども向け縁日ブース(射的・輪投げ・お菓子釣り・スーパースクイズ)やオリジナルパフェ作り体験を実施しました。当日星稜ブースへの来場者は約300名。老若男女あらゆる世代の方々とコミュニケーションをとり、能登地区の玄関口で復興に寄与しました。



★ 星稜ボランティア 「出張パパママ銭湯」開催!

3月15日(土)、能登半島地震復興を主とした星稜ボランティアの一環で、「出張パパママ銭湯」を和倉温泉総湯で開催しました。「パパママ銭湯」とは金沢市と石川県公衆浴場生活衛生同業組合、人間科学部子ども学科の学生たちが協同で実施している入浴支援企画です。

保育士志望の学生がお子様の着替えのサポートや臨時託児所を開設しお世話をすることで、未就学児を持つパパやママにゆつくりお風呂に入ってもらおう事を目的としたサービスです。

学生たちはあらかじめ七尾市内にある15の幼保施設を巡り、親御さんへの宣伝告知を開始。その成果からか、当日は家族30世帯(親40名、子ども65名)が来館し、大賑わいとなり、和倉温泉の復興も兼ねた身も心も温まるイベントになりました。



★ 雪のほし☆たび 屋久島2025開催!

2月23日(日)〜2月27日(木)、人生について考える旅「ほし☆たび屋久島」を4泊5日を実施し、大学1・2年次13名が参加しました。今季最長寒波の最中、大学を出発したメンバー。天候の影響もあり予定外なことばかりの旅となりました。まずはフェリーで鹿児島島に向かい、知覧特攻平和会館を訪れ自分たちと変わらない年齢で生涯を終えた特攻隊員の想いを知り、自分の人生をどう生きたいのかを考えました。3日目に予定していた「縄文杉トレッキング」は凍結で通行止めになり、断念せざるを得ないという残念な状況ではありましたが、代わりに雪原の「白谷雲水峡トレッキング」に挑戦。改めて自然の雄大さを感じるとともに、声を掛け合いながら目的地を目指し全員登頂することができました。



★ 令和6年度学位記授与式を 執り行いました

3月13日(木)、金沢星稜大学の学位記授与式を執り行い、金沢星稜大学624名、大学院2名が卒業を迎えました。式辞では、大久保英哲学長より「本日金沢星稜大学という港を離れ、それぞれの道に向かって旅立ちます。皆さんが船出すると、長い航海の間には、嵐や台風にもぶつかるかもしれません。危険や困難もあることでしょう。でも若者には夢と冒険が似合います。きっと打ち勝つことができます」といった言葉が送られました。

卒業生代表による答辞では、「4年間のすべての経験が、私にとって非常に充実したものであったことを強く実感しています。思い描いていた未来へ向かって進んでいく中で、何度も挫折そうになりましたが、その度に周囲の人々の支えや困難を乗り越えたことが、今の私を形作っていると感じています。そして、無事に卒業という一歩を踏み出せることに、心からの喜びと誇りを持っています」といった言葉が述べられました。

この度卒業された皆さん、本学卒業生・修了生であることを誇りに、学生生活で培った人間力をこれからの人生に生かして、それぞれの素晴らしい明日を育んでください。皆様の輝かしい未来を心よりお祈り申し上げます。



★ 国際大会・ 全国大会出場!

2024川崎トランポリンジャパンオープン【トランポリン部】
井関 駿太(スポーツ学科4年次)
秦 颯士(スポーツ学科4年次)
豊後 輝道(スポーツ学科4年次)
山崎 凌空(スポーツ学科3年次)
木村 心春(スポーツ学科2年次)
美田 靖文(スポーツ学科2年次)
今本 修成(スポーツ学科1年次)
澤田 守杏(スポーツ学科1年次)
都竹 奏翔(スポーツ学科1年次)
第39回デンソーカップ
チャレンジサッカー静岡大会

【サッカー部】
岩城 杏璃(スポーツ学科3年次)



短 金沢文学散歩

山田プレゼミナールでは、金沢三文豪の一人である泉鏡花に注目しています。これまで「高野聖」を読み、解釈を交流したり、文体について議論したりしました。

泉鏡花は、金沢市下新町に生まれ、生家跡が記念館になっています。11月15日（金）、ゼミ生たちは着物を着て、鏡花が生まれ育った街並みを散策しました。文学と金沢の魅力について、体験的に学びを深めることができました。



経営実務科 1 年次 A・N さん（石川県 鹿西高等学校出身）

文学散歩というのは初めての経験でしたが、泉鏡花記念館で原稿や生活で使っていたものの展示を見て、本当に存在していたのだという実感が湧き、とても感動しました。

一つの作品を読み解き、作者の背景や人生について学んだことで、記念館を回った時の感動もより一層強くなったのだと思います。着物を着て歩くことで、自分も泉鏡花が生きた時代にタイムスリップしたような気分になれ楽しかったです。また、この活動を通して金沢の魅力を再発見することができ、とても良い時間でした。

短 地元の伝統野菜「加賀れんこん」販促活動を実践

手塚ゼミナールでは、2021年度からJA金沢市加賀れんこん部会と協働で加賀れんこんの応援活動を行っています。11月9日（土）・10日（日）、JA金沢市ほがらか村本店にて生産者と一緒にゼミの2年次20名全員が参加し、加賀れんこんの販促活動を行いました。消費者に加賀れんこんの魅力を改めてお伝えすると共に、刻んだ加賀れんこんを入れた「星短れんこんクッキー（いちじく&クルミ入り）」をプロデュースし、1個200円で限定販売しました。



クッキー製造には、地元のパン・焼菓子店「穂の香」様（金沢市南森本町）に多大なるご協力を賜りました。

地域を盛り上げるには、地元の皆様と学生が共創して取り組むことが何より大切であると授業を通じて改めて実感することができました。

短 いよいよ就活本格期へ

12月6日（金）および12月10日（火）、短大1年次を対象に、「ヘアメイク実践講座」と「合説のまわり方」ガイダンスを実施しました。就職活動時に第一印象の決め手となる、身だしなみ。そのヘアスタイルとメイクについて、「セルフプロデュース」ができるよう、12月6日（金）に「ヘアメイク実践講座」を開催し、以前より星短生を指導していただいている美容師さんから就活におけるヘアスタイルやメイクのポイントを学びました。普段とは違う髪型やメイクに緊張しながらも、「自分をどう見せたいか」を考える時間にもなりました。

続く12月10日（火）には、「合説のまわり方」ガイダンスを開催しました。星短には幅広い業界、会社、職種への就職実績があります。自分の納得のいく進路を見つけるため、学生たちは先輩の体験談を真剣な表情で聞いていました。「ヘアメイク実践講座」で学んだテクニックも本ガイダンスで実践し、学生もより気持ちを引き締めて参加できたようです。ガイダンスの最後には、就職活動のエネルギーを込めて先輩から「就活応援コスメ」が手渡されました。



短 冬の学食を盛り上げる!! 学生食堂サエラ×学生コラボ企画を実施しました

経営実務Ⅱでは、ビジネスの現場において活躍できるような資質を身につけるために、企画立案やプレゼンテーションを通じて他者に自分たちの意見や考えを述べる学修活動を行っています。今回は学内にある学生食堂サエラの協力のもと、食堂サエラをクライアントと想定した形で冬の学食を盛り上げる企画を2つ行いました。

12月24日（火）、クリスマス特別企画メニューとして「雪だるまプレート」と「淡雪丼」が実際に採用され提供されました。

また、1月15日（水）・1月16日（木）、コリアンフェスティバルをテーマとして「ヤンニョムポーク定食」「チゲナムル定食」「キムチそぼろ丼」の3つの企画が採用され、前日には特別採用枠として「ピビン丼」が採用されました。原価計算や既存メニューと被らないような工夫が必要となるなどの苦労はありましたが、当日は売り切れ、もしくはほぼ売り切れの状態となりました。

学生食堂の活性化につながる活動の一つになったと同時に、学生も大変貴重な経験を得ることができました。



短 令和6年度学位記授与式を執り行いました

3月14日（金）、金沢星稜大学女子短期大学部の学位記授与式を本学キャンパスにて執り行い、98名が卒業を迎えました。式辞では、「本学の建学の精神」誠実を心に刻み、誠実ということのを忘れないで日々行動してください。次に、プラスの言葉を使い、プラスに考える習慣を身につけることで、人生が変わるかもしれません。是非、習慣を身につけて行って欲しいと思います。最後に、社会に出ても限界を作らず、勇気を持ってチャレンジを続けてください。その積み重ねが社会に大きな変化をもたらすかもしれません」との言葉が述べられました。

卒業生代表の学生からは、「私たちがここまで成長できたのは先生方の温かいご指導のおかげです。授業の中での学びだけでなく、人生の先輩としての助言や励ましのお言葉にも幾度となく支えられました。先生方からいただいた教えを胸に、これからの人生を力強く歩んでいきます」と答辞が述べられました。

式典の後、ゼミナールごとの教室に分かれ、担当教員より学位記が手渡されました。卒業生各々の表情にも、2年間の達成感があふれる様子が受け取れました。晴れやかに新たな門出を迎えた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの人生が実りのあるものになるように、心よりお祈り申し上げます。



★ 1年生Pコース 金沢工業大学で
体験学習・模擬講義を受講しました。

10月18日(金)、1年生Pコースが金沢工業大学で体験学習・模擬講義を受講しました。燃料電池やストロープ効果、ボールを蹴る際の足の速度やボールの回転などを物理的に解析するなど専門的な実験や講義が多く、大変有意義な時間を過ごしました。文理融合型の学部が急増する中、理系的な学問に触れることで、大学選択やキャリア選択の幅を広げることができました。



★ 1年生Pコース 研修旅行に行ってきました！

12月2日(月)～4日(水)、1年生Pコースは研修旅行に行ってきました。初日は神戸市内研修やノエビアスタジアム神戸のツアー見学を行い、2日目は大塚国際美術館を見学し、ネスタリゾート神戸の大自然テーマパークに行きました。最終日は、ユニバーサルスタジアムジャパンに行き、有意義で楽しい研修旅行となりました。



★ 1年生Bコース 研修旅行に行ってきました！

12月2日(月)～4日(水)、1年生Bコースは研修旅行に出かけました。初日はクラス別で企業や博物館の見学・体験を行い、六甲山で夜景を見ることができました。2日目は班別で神戸市内研修とユニバーサルスタジアムジャパンを訪れました。最終日は、外国人と交流をしながら大阪の街を堪能しました。生徒たちは非日常的な時間を過ごし活々とした表情をしていました。



★ 1・2年生中高一貫理数コース 課外実習を行いました！

11月11日(月)、中高一貫理数コースの4・5期生が、課外実習の一環で、国立4大学院大学の一つである北陸先端科学技術大学院大学と独創的な発想で新しい繊維の可能性を広げてこられた小松マテール株式会社へ訪問しました。大学での研究や仕事の現場を見学し、大学や企業で働く方々と直接交流することで、学業や将来のキャリアに対するモチベーションを高めた1日になりました。



★ 1年生中高一貫理数コース オーストラリア研修旅行に行きました！

11月29日(金)から8日間、1年生中高一貫理数コースはオーストラリア研修旅行に行ってきました。オセアニア特有の海洋生物を扱う水族館SEA LIFEや160年以上の歴史を持つ名門校シドニー大学などを訪れました。St. Patrick's Marist Collegeでは、約200名の高校生の前で日本が誇る伝統文化や最先端技術、世界が協働して解決すべき国際問題などを堂々と発表しました。海外留学の魅力を実感した研修旅行となりました。



★ 1年生Aコース 関東方面へ研修旅行に行ってきました！

12月2日(月)～4日(水)、1年生Aコースは関東方面へ研修旅行に行きました。初日は東京大学や文理に分かれて私立大学を見学し、2日目は企業訪問研修の後、東京ディズニーランドへ行きました。最終日には国会議事堂や浅草に赴き、帰路につきました。暖かな陽ざしにも恵まれ、金沢から離れ、普段とは違った生徒の姿や一人ひとりがこれから歩んで行こうとするそれぞれの道への眼差しが見られました。



★ 1・2年生 体育大会を行いました。

12月19日(木)・20日(金)、1・2年生は体育大会を行いました。1年生はバレーボール・ダンス発表・バスケットボール・サッカー、2年生はバスケットボール・サッカー・バレーボール・卓球・バドミントンの競技をクラス対抗で行いました。寒い中で、大会となりましたが、生徒たちはクラス一丸となって勝利を目指し、存分に楽しんでいました。クラスの様子が見られました。クラスの絆を深めることができました。体育大会となりました。



★ 2年生 新聞切り抜き 作品発表会を行いました！

10月29日(火)、中日新聞NIEコーディネーターの米倉敏広氏をお招きし、7月19日(金)に行った新聞講座で学んだ新聞切り抜き作品の発表会を行いました。各クラスから選出された優秀作品の発表を聴き、作品発表に対する相互評価をしました。各班の選んだテーマに対し興味関心をもち、自ら聴く姿勢で取り組んでいました。また、発表した班の生徒からは発表する意欲を繋げようとする姿勢を垣間見ることができました。



★ 金沢星稜大学附属星稜幼稚園を訪問しました。

2年生の家庭科の授業の一環として、金沢星稜大学附属星稜幼稚園を訪問しました。幼児の特性に合わせた接し方や遊びの工夫を学ぶことを目的とし、教室や園庭などで、一人ひとりの様子を見て安全に配慮しながら一緒に遊びました。普段は幼児との関わりが少なく戸惑っていた生徒も、徐々に園児たちと打ち解け、最後には名残惜しい様子でした。幼児の成長について学ぶと共に、自身自身を振り返る良い機会になりました。



★ スキー教室を行いました！

富山県南砺市イオックス・アローザにてスキー教室を行いました。スキー自体が初めての生徒が多かったが、インストラクターの方に正しい滑り方や転び方を教えていただき、スキーの楽しさを知ることができたようです。風が強い中での滑走となり、自然の厳しさを目の当たりにしましたが、短い時間の中で生徒たちは級友とかけがえのない時間を過ごすことができました。



★ 3年生 卒業証書授与式を行いました。

3月4日(火)、稲置講堂にて第61回卒業証書授与式を厳粛に執り行い、556名が学舎から旅立ちました。代表生徒への卒業証書授与並びに日本私立中学高等学校連合会会長賞、星稜スポーツ特別賞の表彰、学校長式辞・後援会会長祝辞・在校生代表送辞・卒業生代表答辞・卒業の歌に3年間の織り重ねた思いが蘇り、目頭を熱くする様子が見受けられました。今後のご活躍と幸せを心からお祈りしております。



★ ウィンターフェスティバルを行いました！

12月4日(水)、ウィンターフェスティバルを行いました。クラス対抗でバレーボール、バスケットボール、フリースロー対決、ドッジボールが行われました。第一体育館コート3面と第二体育館コート2面で白熱した試合が繰り広げられ、クラスの団結力がより高まりました。また、教員もエキシビジョンマッチに参加したことによって、一体感のある温かい行事となりました。



★ 合唱コンクールを行いました！

12月20日(金)、稲置講堂にて合唱コンクールを行いました。各クラスが一致団結し、必死に練習を重ねて臨んだコンクールは見事、大成功！それぞれのクラスにはドラマがあり、沢山の感動を届けてくれました！審査員からは歴代最高と評されるほど、レベルの高い接戦のなか、金賞は3年C組が受賞しました。生徒はもちろん、多くの保護者の皆様と共に幸せと感動のひと時を過ごすことができました！



★ 生徒会主催ポッチャ交流会を行いました！

2月17日(月)・19日(水)、本校サブアリーナにて生徒会主催のポッチャ交流会を行いました。パラリンピック競技であるポッチャについて理解を深めると共に、学年やクラスを超えて交流を深めることを目的とし、3日間で延べ81人の参加がありました。まず歴史やルールを学び、トーナメント方式で試合を行いました。ボールの投げ方を工夫するチームや戦術を練って勝利するチームなど様々な楽しみ方をしていました。



★ 第23回総合学習発表会を 行いました！

3月6日(木)・7日(金)、第23回総合学習発表会を行いました。1年生は1年間サイエンスプログラムとして様々な実験などに取り組んできた集大成として、発表をしました。2年生はクラスごとに設定された発展途上国の問題点を探究し、問題解決のための事業内容を立案し、発表しました。3年生の進学コースは「地域貢献」をテーマとして様々な形式で発表し、一貫理数コースは班ごとに設定した研究テーマについて、実験結果を発表しました。それぞれに様々な創意工夫が見られ、拍手があふれる有意義な時間になりました。



★ 第50回 卒業証書授与式を 行いました。

3月15日(土)、第50回卒業証書授与式を行いました。98名の卒業生が旅立ちの日を迎えました。式では、在校生代表として斎藤陽月さんが送辞を、卒業生代表として東寛斗さんが答辞を述べました。式の最後に、卒業生の「さくら(独唱)」、生徒全員での「旅立ちの日に」の合唱を披露し、3年生の思いがこもった歌声と全員の迫力ある合唱で多くの人の心を震わせました。3年生の最後を飾るあたたくも素晴らしい式になりました。



★ 中 高 11月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

第40回北信越高等学校囲碁選手権大会

- 男子団体戦 第1位 高木 太郎、小早川 拓海
澤本 直輝、中川 真志

第37回石川県高等学校ヴォーカルアンサンブルコンテスト

- 審査員特別賞 星稜高校B1
- 銀賞 星稜高校B1

第59回 石川県アンサンブルコンテスト金沢支部大会

- クラリネット五重奏 金賞
- フルート三重奏 金賞
- 金管八重奏 金賞

第59回 石川県アンサンブルコンテスト

- フルート三重奏 金賞(石川県代表)
- クラリネット五重奏 銀賞

第48回北陸アンサンブルコンテスト

- フルート三重奏 銅賞

第9回いしかわ吹奏楽コンクール新人戦

- 銀賞

第37回中部日本個人・重奏コンテスト本大会

- フルート3重奏 銀賞

令和6年度 石川県高等学校文化連盟 秋期「高校生の美術展」

- 平面部門 優良賞 渡邊 さくら

第38回北信越高等学校空手道新人大会

- 女子 個人組手E級 第1位 寺西 瑚雪

第79回 石川県耐寒継走大会 七尾・中島大会

- 高校男子 第1部 団体 第3位 星稜高校Aチーム
水谷 慧士、櫻井 水龍
中山 悠生、小塚 瑛介

第1回 いいとこ白山あさがおマラソン チャレンジコース3km

- 女子 中・高校生 第1位 10分30秒 辻本 ひまり
- 女子 中・高校生 第2位 10分32秒 中村 沙耶
- 女子 中・高校生 第3位 10分35秒 松山 桜彩

令和6年度 第36回 石川県高等学校弓道冬季錬成大会

- 女子団体の部 第1位

令和6年度第40回石川県高等学校弓道如月大会

- 女子団体 第1位

第77回 中部日本高等学校演劇大会

- 中部日本高等学校演劇連盟奨励賞

令和6年度石川県高等学校総合体育大会

- 男子アルペン総合 第1位
- アルペン競技 男子GSL 第1位 宮本 純之介
- アルペン競技 男子GSL 第2位 南田 陽祐
- アルペン競技 男子SL 第1位 宮本 純之介
- アルペン競技 男子SL 第2位 南田 陽祐
- スキー競技 男子総合 第2位

石川県高等学校体育連盟優秀選手表彰式

※令和6年度全国大会トランポリン競技で優秀な成績を収めたため受賞

- 男子
- 女子

令和6年度 石川県高等学校総合体育大会

- 総合優秀校
- 女子優秀校

【星稜中学校】

金沢市中学校新人駅伝競技大会

- 男子団体の部 第4位 宗藤、赤澤、牧村、桑原
- 女子個人の部 第9位 横山 莉沙子
- 女子個人の部 第10位 春山 燎里

第55回金沢市中学生耐寒剣道錬成大会

- 男子個人 2年生の部 第2位 丹尾和詩
- 男子団体 第2位

第39回石川県中学生選抜剣道大会

- 男子団体戦 第3位



☆友達といっしょが
うれしいね☆

「いいな いいな」「わたしもあんなことしたいな」「○○ちゃん、どうしたのかな」そんな心の声がかかります。年上の子どもの遊びや生活する姿をみて「おなじことをしたい」と思ったり年下の子に「どうしたの?」と声をかけたり、互いを気にする姿が増えてきました。目を合わせて「いいよ」のサインを送り「いっしょにどうぞ」の玩具を手渡し「友達といっしょ」が心地よく楽しくなっている子どもたちです。こども園は時には0歳児・1歳児・2歳児が一緒に生活する場面があり、「なりたいモデル」も「手伝ってあげたいモデル」もすぐそばにいます。時を重ねるうちにすっかり一つの「お家」ができそうなこの頃です。



幼稚園
☆園内紹介☆

【ナースリー保育室（0・1・2歳児）】

睡眠・食事・排泄・遊びなど一人ひとりのリズムに合わせて生活しています。あたたかい雰囲気の中で保育教諭と一緒に絵本を見たり、触れ合い遊びをするなどゆったりと過ごしています。



【ナースリープレイルーム】

天候が悪い日は屋内プールをナースリー児のプレイルームとして開放しています。ソフト積み木を並べてその上を橋のように渡ったり、ボールプールに入って存分に体を動かして遊んでいます。



【キンダー保育室（年少・年中・年長）】
製作や積み木・カプラを使った構成遊びなど、友達と一緒にイメージを共有しながらごっこ遊びを楽しんでいます。机上では友達と一緒に遊びのルールを共有しながら、ボードゲームやカードゲームをしています。



【フレイルーム】

アルピニオのハシゴや滑り台などの巧技台遊びに挑戦したり、大型積み木を組み合わせて並べ、家や電車に見立てて遊んでいます。ドッジボールやとび箱、大縄など、跳んだり走ったりして体を十分に動かして楽しんでいます。



【ランチルーム】

年少児・年中児・年長児がランチルームで昼食を食べています。すぐ横の給食室で調理し、毎日出来立てのほかほか美味しい給食を食べています。



【ファミリーレストラン】

家事に育児にお仕事に、毎日頑張っている保護者の皆様にエールを込めて、星稜幼稚園では月に一度『家族応援ファミリーレストラン』を開催しています。

毎日給食を作っている調理員が腕によりをかけて、安心安全で美味しい夕食を作っています。唐揚げやハンバーグ、ポテトサラダなど子どもから大人まで喜んでいただける栄養満点のメニューと食後のデザート＆コーヒーを準備しています。



【園庭】

園庭では子どもたちがそれぞれ思い思いの好きな場所で遊んでいます。大型アスレチックに挑戦したり、友達と一緒にサッカーをするなど体を思いきり動かして遊んだり、虫探し・植物の水やりなど自然の中で存分に自分のしたい事を楽しんでいます。



「すごい！」と見た人が皆びっくりする可動式機能が付いた屋内プール。ボタン1つで水深が30cmから80cmまで上下に可動します。年少児・年中児・年長児が屋内プールを使用しています。



☆高校生との交流☆

2月26日(火)、石川県立金沢泉丘高校の生徒が探求活動の一環で『カルシウムについて学ぶ』をテーマに年長児を対象に活動を行いました。紙芝居で、男の子が転んで骨を折るお話から、カルシウムが大事であることを教えてくれて、カルシウムが入っている食べ物を紹介してくれました。紙芝居を見た後に、グループに分かれて双六(すごろく)をし、カルシウムが入っている食べ物を当てながら学びました。豆腐にもカルシウムが入っていることを知った園児から、「豆腐は大豆でできているから、大豆で作る醤油にもカルシウムが入っているの?」と質問があり、「醤油は発酵するので、その過程でカルシウムが少なくなること」を教えてくださいました。他にも、赤ちゃんの骨は数が多く、大きくなるにつれてくっついて太くなり骨の数が少なくなるという雑学も教えてくれました。



☆おわかれ会☆

3月6日(木)、年長児とのおわかれ会をしました。年中児が中心となって計画を立て、マジックや『だれだクイズ』をしました。年長児に対して、年中児から牛乳パックにフェルトを貼って作った筆箱、年少児からはハートやクローバーで飾ったペンダントをプレゼントとして渡しました。職員からは『ともだちになるために』の歌のプレゼントをし、最後に三年間のスライドショーを見ながら色々な行事を懐かしみ涙を流す姿も見られました。年長児からはおわかれの言葉と歌のお礼があり、胸が熱くなるひと時でした。



☆初詣ごっこ☆

年中児はお正月に家族で初詣に行った経験を、お部屋で表現して遊びました。積み木を積み上げ、ドミノをきれいに並べると「尾山神社のステンドグラスみたい!」という声が聞かれました。そこから、神社には何があったのか考え、鳥居やお賽銭箱、お守りやおみくじ作りが始まりました。神社が出来上がると、巫女さんになって初詣ごっこが盛り上がっていました。



☆仲良し散歩☆

1歳児と2歳児で、近くの泉野第4児童公園へお散歩に行きました。秋と一緒にいった時は、手を放して自分の好きな所へまっしぐらでしたが、3月にはお友達としつかりと手をつなぎ、公園まで歩きました。公園では、遊具で遊んだり小枝でお絵かきをしたり、暖かい陽ざしを浴びたりしていました。2歳児は、1歳児に遊具の順番を譲ってくれて、優しく面倒を見てくれました。1歳児はお世話をしてもらいとてもうれしそうにしていました。



CDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）開設20周年を迎えました。

金沢星稜大学で、2005年度に開設した難関試験突破のためのプログラム「CDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）」は2025年度に20周年を迎えました。これまで1262名の合格者（実数）を輩出し、全国で卒業生が活躍しています。これからも、成長し続ける学生の皆さんを全力で応援します。



【CDP合格者数（試験別）】

※2025年3月31日現在

講 座	職 種・試 験	集計年度	合格者数(実数)	過去最高 最終合格率(年度)
CDP 公務員	公務員採用試験(大学)	2008～2024	542名	84.4%(2024)
	公務員採用試験(短大)	2014～2024	95名	86.7%(2022)
	公務員採用試験(保育士)	2014～2024	64名	100.0%(2024)
CDP 教員	公立小学校教員採用試験	2010～2024	392名	88.4%(2024)
	公立中高保健体育教員採用試験	2010～2024	59名	
	公立中高英語教員採用試験	2019～2024	19名	
	公立中高その他採用試験	2019～2024	39名	
CDP 会計	税理士試験(簿記論)	2008～2024	31名	75.0%(2020)
	税理士試験(財務諸表論)	2008～2024	17名	60.0%(2023)
	税理士試験(消費税法)	2010～2024	4名	50.0%(2019)
合格者 計			1,262名	

【2024年度 CDP合格パンフレット(20周年記念号)】

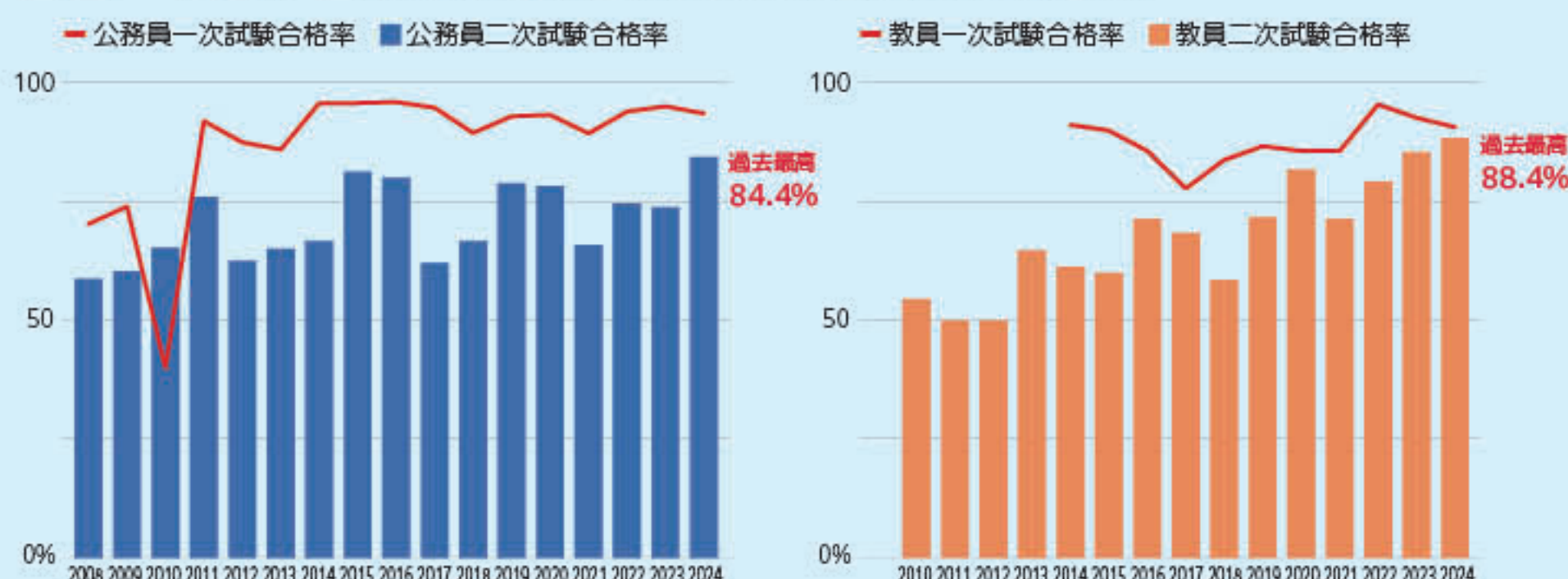
2024年度合格者記事の他、CDP20年間の歴史、受講者数、合格者数、合格率を掲載しています。パンフレットを希望される方は、大学・短大事務局エクステンション課までお問い合わせください。



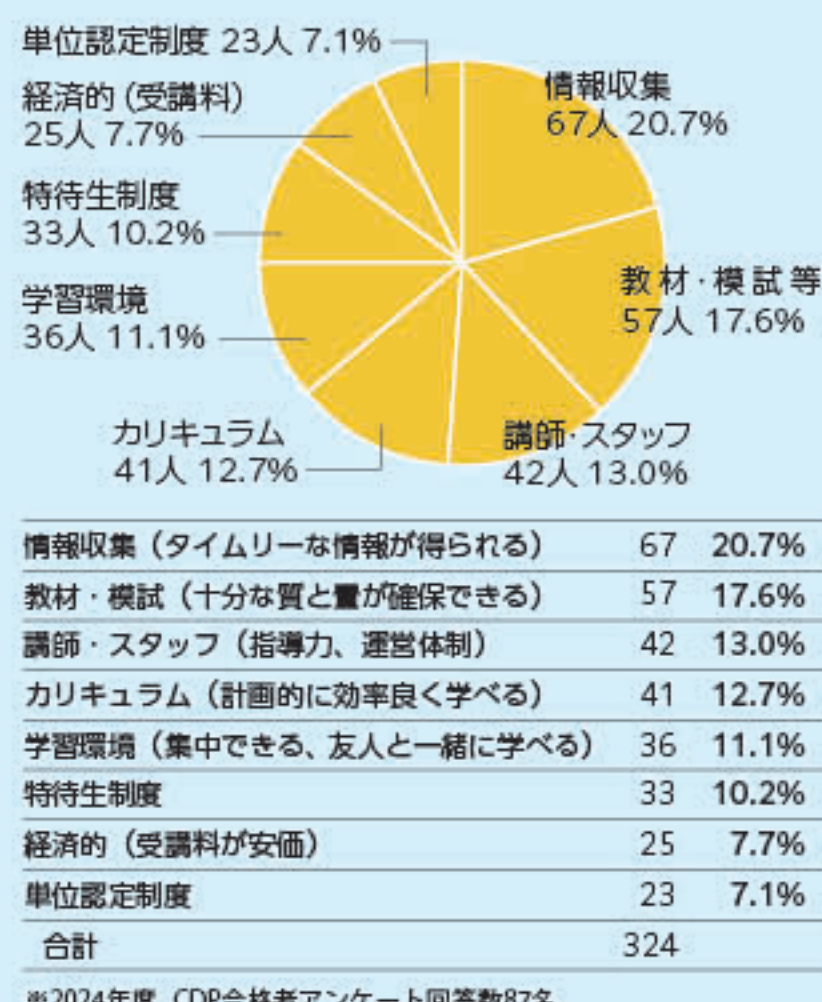
CDP (キャリア・ディベロップメント・プログラム) とは？

独学では合格困難な難関試験の現役合格を目指す金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部独自の教育プログラム。それが「CDP」です。

■CDP一次試験・二次試験合格率の推移 (現役学生、大学公務員・教員のみ)



■CDP受講のメリット (複数回答)



■合格者からの熱いMessage★

【CDP教員コース卒業生】教員採用試験を受験して内定をもらうまでは、結構長い道のりがありますが、目の前のことに一つ一つ一生懸命に取り組むことが大切だと思います。終わった後に、「結果にかかわらずちゃんと頑張ったな」と思えるように取り組んでみてください。

【CDP公務員コース卒業生】長年目指してきた公務員試験に合格するという目標を達成でき、金沢星稜大学に入りCDPを受講する選択をして本当に良かったと感じています。全国のライバルに勝つために、支援の充実したCDPで公務員を目指しましょう！

【CDP会計コース卒業生】夢や目標を持っていることが一番良いのですが、もし何もない場合はCDPを受講してみることで新しいことに挑戦できると思います。これから税理士試験を受験する方は、CDPの実績に基づくサポートを信じ、自分の苦手な分野を無くしていけば必ず合格が見えてきます。頑張ってください！



エクステンション資格講座は、 本学園の卒業生・教職員・保護者の方にもご利用いただけます。

2025年度エクステンション資格講座ガイドが完成しました。

資格取得やスキルアップを目指す方向けに開講しているエクステンション講座は、学生を中心に卒業生や保護者の方にもご利用いただいています。WEB資格講座をはじめとするオンデマンド講座やハイブリッド講座など「新しい学習環境」の提供をしています。

詳細はホームページでご確認ください。

【エクステンション講座ホームページ】

<https://ssl.smart-academy.net/seiryo/>



【WEB資格講座で25種類の資格にチャレンジ】

WEB資格講座は、パソコン、会計、法律、ビジネスなど25種類の資格講座を「定額で」「1年間」「いつでもどこでも」受講することができることから、ご好評いただいております。毎月募集を行っています。

〈受講対象者〉学生 (本学園の大学・大学院・短大部・高校等の在学生)、本学園の卒業生・教職員・保護者等

〈受講期間〉受講開始より1年間 ※全25講座を1年間学び放題

〈受講料〉11,000円 (テキストは別途購入)

〈申込締切〉毎月20日締切 (20日が土日祝日の場合は、金曜日を締切日)

【エクステンション2025資格講座】

〈申込方法〉締切日までに受講申込書の提出と受講料の支払いをしてください。(学生以外の方の受講料は郵便局で払い込みとなります。)

WEB資格講座の詳細は、ホームページでご確認ください。

【WEB資格講座ホームページ】

<http://shikaku-web.net/web/>



大学生がサッカー指導に奮闘、未来のJリーガーを育成

金沢星稜大学体育会サッカー部の学生は、指導者（サッカー部監督）の教えも手伝って学内外を問わず誰からも応援されるチーム作りの一環、そしてただ漠然と4年間勉強とサッカーボールを追いかけて過ごすのではなく学生に付加価値を付ける意味合いも込め、平成27年7月より金沢星稜大学附属星稜幼稚園（御所町）でサッカー指導に取り組んでいます。

サッカー部の監督（小松崎 保）はもともと川崎フロンターレ、北海道コンサドーレ札幌、横浜FCを渡り歩き活躍した人物で、縁あって金沢の地で星稜大サッカーを指導する中、サッカーだけやっていれば良いという指導方針ではなく、広い視野でサッカーと関わりを持ち社会に役立つ人材輩出を目指す考えが強く、一方、幼稚園サイドからもアフタースクールとしてサッカー教室の設置に向けて大学に協力要請が重なり、小松崎氏がこれを引き受け「星稜U-6 FC」という取り組みが実現した次第です。

この度、指導にあたる3名の学生に園児と接する中での苦労話やおもしろエピソードを聞きました。



小松崎 保氏



星稜U-6に関わって幼児に教える難しさは、普段友人等に話す際に使う言葉では通じないというところがあります。そのため、なるべく分かりやすい言葉を選び、理解してくれたらたくさん褒めることを意識しています。褒められた時や、何かに成功しハイタッチを求めてくる幼児の笑顔がたまらなく可愛いです！また、始まる前にソックスを上げているか、シャツをインしているかの確認をするのですが、シャツをインしすぎて昭和のサッカー選手並みにズボンが短くなっている姿は面白いですしとても癒されます！

人間科学部スポーツ学科4年
山崎 悟さん

私たちが指導するうえで当たり前になっている言葉でも園児には通じなかったり、練習の内容を伝えているつもりが全く伝わっていなかったりする事がよくあります。毎回意思疎通の難しさを感じながら悪戦苦闘、しかしスクールの終了時間を迎えると逆に私たちが園児から多くの元気をいただいているという結果に。

園児一人ひとり個性豊かでとても面白く、最後はこちらが癒やされています。笑

人間科学部スポーツ学科1年
大木 陽さん

私は園児たちに教える際、同じ目線で話をするように意識しています。そうすることで園児たちが怖がることなく素直に話を聞いてくれるからです。子どもたちは言うことを聞かず、暴れ回る時もありますがそれで良いと思っています。まずは元気に目一杯体を動かすこと、そのうえでサッカーの楽しさを感じてもらいたいと思っています。これまで指導してきた中で園児らしいなあと感じたのは、点を決めれないと泣き、点を決めると満面の笑みで喜ぶところです。喜怒哀楽を全力で表現する姿に私もエネルギーを貰いますし、面白いなあとと思っています。笑

人間科学部スポーツ学科4年
妹尾 哲兵さん

なお、金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園（泉野町）においても同様に課外活動の中にサッカークラブが存在し、こちらの指導者にはツェーゲン金沢スクール・U-12コーチを務める薮 健太郎氏が携わり、両園では年に一度の頂点を極める大会（交流試合）が行われていましたがここ近年は諸事情により未開催、今年は何とか開催にこぎつけたい。（広報課 宮崎）



薮 健太郎氏

総合研究所

SDGs産学地域連携センターだより



総合研究所

「2024年度研究成果報告会」を開催しました！

2月27日(木)、本学において2024年度の研究成果報告会を開催しました。8件の共同研究と2件のプロジェクト研究所の代表者が1年間の活動の成果についての報告を行いました。報告会では、それぞれの研究に携わる研究者や学部・学部の垣根を超えた多くの教員による質問を介して、意見交換が行われました。新広昭副学長は各研究の報告を受け、「実証的な研究が多い印象であり、本学の価値を研究のかたちで積み重ねて行き、研鑽されることを望みます」と感想を述べました。



共同研究

- ・Arts-Based Researchを共通基盤とし、総合大学における科目にアート作品の制作を取り入れるための学際的研究
—美術・教育学・哲学の観点から—
代表研究者 寺嶋雅彦(教養教育部講師)
- ・統合報告の情報利用—薬品製造企業A社を対象として—
代表研究者 梅田充(経済学部准教授)
- ・自治体別の感染症条例データベースの構築と比較分析
代表研究者 佐藤将(経済学部講師)
- ・保育者の休憩と子どもに触れる意識の関連
代表研究者 三好伸子(人間科学部教授)
- ・食文化の保護・継承における多角的なステークホルダーの役割と取組の相互作用についての検討
代表研究者 土屋仁美(経済学部准教授)
- ・球技スポーツにおける試合期中の体力の変動
代表研究者 岡室憲明(人間科学部講師)
- ・ロングセラー・ブランドのロゴにおけるデザイン的特徴の探索的研究
代表研究者 牧野耀(経済学部准教授)
- ・子どもの「内面」の見取りに基づく
授業づくり・授業改善のあり方の検証
代表研究者 柳川公三子(人間科学部講師)

プロジェクト研究所

- ・親子間の文化を通じた選好の伝達についての実証研究
経済と文化のパネル実証分析研究所(2年目)
代表研究者 石野卓也(経済学部教授)
- ・河北潟地域の自然共生マスタープラン策定に関する実証的研究
河北潟地域の自然共生マスタープラン研究所(2年目)
代表研究者 永坂正夫(人間科学部教授)

「地域連携による地域貢献活動」推進事業

- ・高大連携による観光実践プロジェクト
代表者 石川美澄(経済学部教授)
- ・津幡町河合谷地域活性化プロジェクト
代表者 石川美澄(経済学部教授)
- ・地域資源をWEBに残すウェキペディアタウンプロジェクト
代表者 佐藤将(経済学部講師)
- ・白山市の持続的発展に向けたデザインとマーケティングの実践活動
代表者 牧野耀(経済学部准教授)
- ・令和6年能登半島地震で被災した保育園等において「楽しさ」を届ける活動
代表者 連桃季恵(人間科学部准教授)
- ・身体教育の在り方を考える
代表者 丸井一誠(人間科学部准教授)
- ・志賀町小学生英語教育実践プロジェクト+
代表者 前田昌寛(人文学部准教授)
- ・金沢市をフェアトレードタウンにする活動
代表者 高原幸子(人文学部准教授)

「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」活動内容

- ・食☆活(子ども支援活動)
子ども食堂の企画・運営
- ・コスメティックベコリン♡
オリジナル商品で能登の魅力を発信
- ・SMC
北陸の観光業復興に向けたPR活動
- ・ひかるさつまいも
デザインとマーケティング
- ・のとプロ
能登の観光資源を発信
- ・こどもとSDGs
保育現場でSDGs教育に取り組む
- ・Kam
親子参加型スポーツイベントの運営
- ・七尾市大呑地域活性化プロジェクト
大呑でランタンフェスティバルを開催
- ・バーチャルワールド探検隊
覗いてみようVRの世界
- ・GFEP
自然のワクワク発見! 楽しく学ぶ科学の世界へ飛び込もう!
- ・ITCSP
石川県の伝統工芸品における経済的発展と復興支援

SDGs産学地域連携センター

「2024年度地域連携活動報告会」を開催しました！

3月6日(木)、本学において2024年度地域連携活動報告会を開催しました。学生・教員が2024年度に行った地域活動や今後の活動方針について報告を行いました。

第1部では、「地域に向き合い地域に学ぶ」を目標に、地域課題解決や社会貢献活動に励む学生の自主的な活動である「星稜ジャンプ地域活動プロジェクト」の11団体から報告が行われました。

第2部では、地域フィールドを舞台にした教育研究活動を通して、課題解決能力と地域の活力となる新たな知を生み出す力を持った人材を育成する「地域連携による地域貢献活動」推進事業の成果報告が行われました。質疑応答の時間では、多くの参加者の方から質問やご意見をいただき、今後の活動への新たな一歩につながる報告会となりました。



総合研究所



SDGs産学
地域連携センター

活動の成果

メンバーや能登地域外の方々の能登に対する関心の深まり

- 能登在住の方々との関わりにより、能登の魅力や関わる人の温かさを感じ、「よりこの魅力を広めたい」と思えた。
- のとプロのSNSの活動を通じて、能登に関心を持った地域外の方々が増えた。

能登の関係者との交友関係の広まり

- イベントを通して、能登に深い関心を持つ方や能登食材の魅力を広めている方など、能登に対して様々な想いを持つ方とのつながりができた。



みなさまからのご寄付で、学生・生徒・園児にエールを

平素より、多大なるご支援・ご寄付を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、「令和6年能登半島地震」に際して、心あたまるご支援を頂戴いたしましたこと、心より感謝いたします。

本学園は創立100周年に向けて、園児・生徒・学生に対して可能性に満ちた未来を創造するため、段階的かつ持続的な教育を目指した教育改革を推進しております。

皆様におかれましては、質の高い教育を実現し、子どもたちが個性豊かに、そして健やかに学べる教育環境を整備するため、引き続きご支援をいただけますように心よりお願い申し上げます。

ご寄付は、以下のような 目的で活用させていただきます

- 学生・生徒への奨学金
- 教育・研究活動への支援
- 課外活動への支援
- 国際交流への支援
- 修学・保育環境及び教育・研究等設備の整備への支援

寄付金額：一口 5,000円

※一口未満の寄付についてもありがたくお受けいたします

インターネットからのご寄付

クレジットカード決済可能な
インターネットからのご寄付はこちら
詳しくは、学園HPをご確認ください。

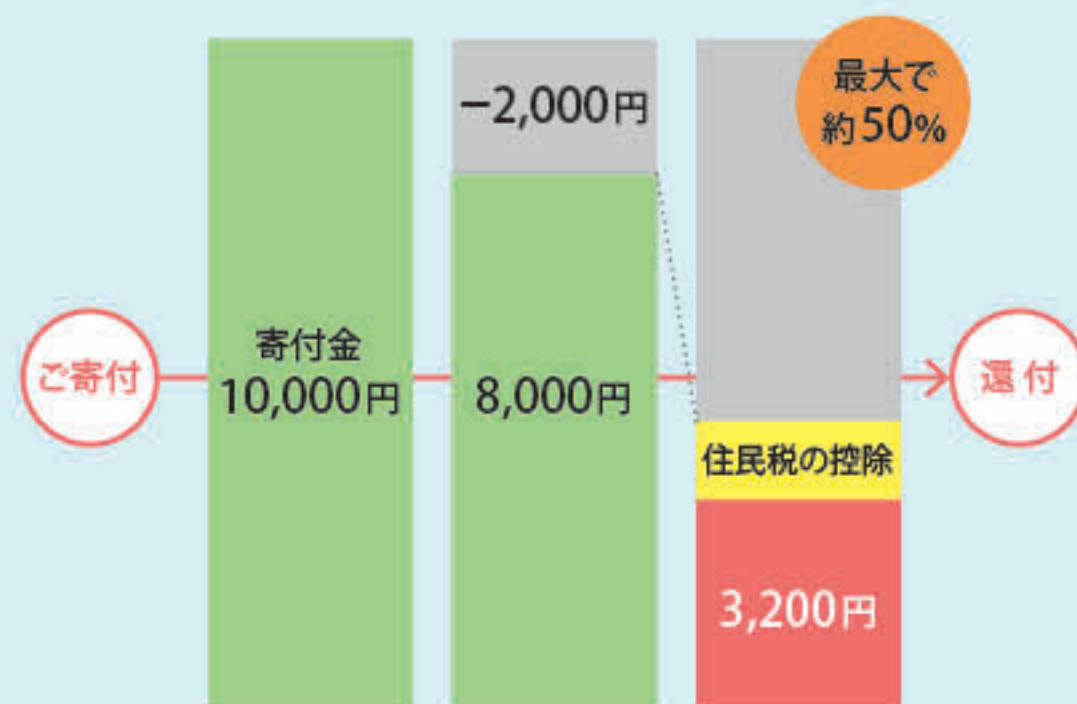


税制上の優遇措置

寄付金に応じた所得税等の還付を受けられます。

1万円寄付した場合の減免税の目安

減税額 3,200円!



Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

バックナンバーを、
ホームページにて公開しています。
<https://www.seiryu.jp/magazine/>



金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町丑10番地1
Tel.076-253-3924 (代表)
(大 学) <https://www.seiryu-u.ac.jp/u/>
(短大部) <https://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小坂町南206番地
Tel.076-252-2237 (代表)
<https://www.seiryu-hs.jp/>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町寅27番地
Tel.076-252-5057 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
Tel.076-244-5636 (代表)
<https://kinder.seiryu.jp/izumino/>